



平成 21 年 1 月 6 日

各 位

会 社 名 オリンパス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 菊川 剛
 (コード番号 7733 東証・大証第 1 部)
 問合せ先 経理部長 川又 洋伸
 (TEL. 03-3340-2111(代))

投資有価証券評価損および関係会社株式評価損等の計上に関するお知らせ

当社が保有する投資有価証券および関係会社株式のうち、時価が著しく下落したものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期決算において投資有価証券評価損および関係会社株式評価損等を特別損失として計上する見込となりましたのでお知らせします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の投資有価証券評価損および関係会社株式評価損等の総額
(連結)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期の投資有価証券評価損の総額 およびのれんの一括償却額	304 億円
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	(3,679 億円 8.3%)
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	(931 億円 32.7%)
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	(580 億円 52.4%)

(個別)

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期の投資有価証券評価損および 関係会社株式評価損の総額	453 億円
(B)平成 20 年 3 月期の純資産の額 (A/B×100)	(2,446 億円 18.5%)
(C)平成 20 年 3 月期の経常利益額 (A/C×100)	(383 億円 118.3%)
(D)平成 20 年 3 月期の当期純利益額 (A/D×100)	(413 億円 109.6%)

- (注) 1. 当社の第 3 四半期末は、12月31日であります。
2. 上記(A)の金額は見込額であり、実際の金額は、今後の集計によって見込額と異なる結果となる可能性があります。なお、四半期会計期間末における投資有価証券および関係会社株式の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しているため、平成21年 3 月期末においては、投資有価証券評価損および関係会社株式評価損の計上額が変動する場合があります。

2. 今後の見通し

連結決算においては、投資有価証券評価損約 98 億円、のれんの一括償却額約 206 億円を特別損失として計上する予定です。なお、のれんの一括償却額は、個別決算において当社が保有する連結子会社株式について関係会社株式評価損を計上したことに伴い、当該子会社に係るのれん相当額を一括償却処理するものであります。

個別決算においては、投資有価証券評価損約 85 億円、関係会社株式評価損約 368 億円を特別損失として計上する予定です。

本件による業績への影響については現在集計中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合は、判明次第発表します。

以 上